

第3章 くらしの満足度【問7】

1 重要度【問7】

身近な生活に関する40項目について、どの程度重要だと感じているかを尋ねた。項目ごとに重要度を「非常に重要である」から「まったく重要ではない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は、「非常に重要である」「かなり重要である」「どちらともいえない」「さほど重要でない」「まったく重要ではない」の5区分に「分からない」を加えた6区分とした。

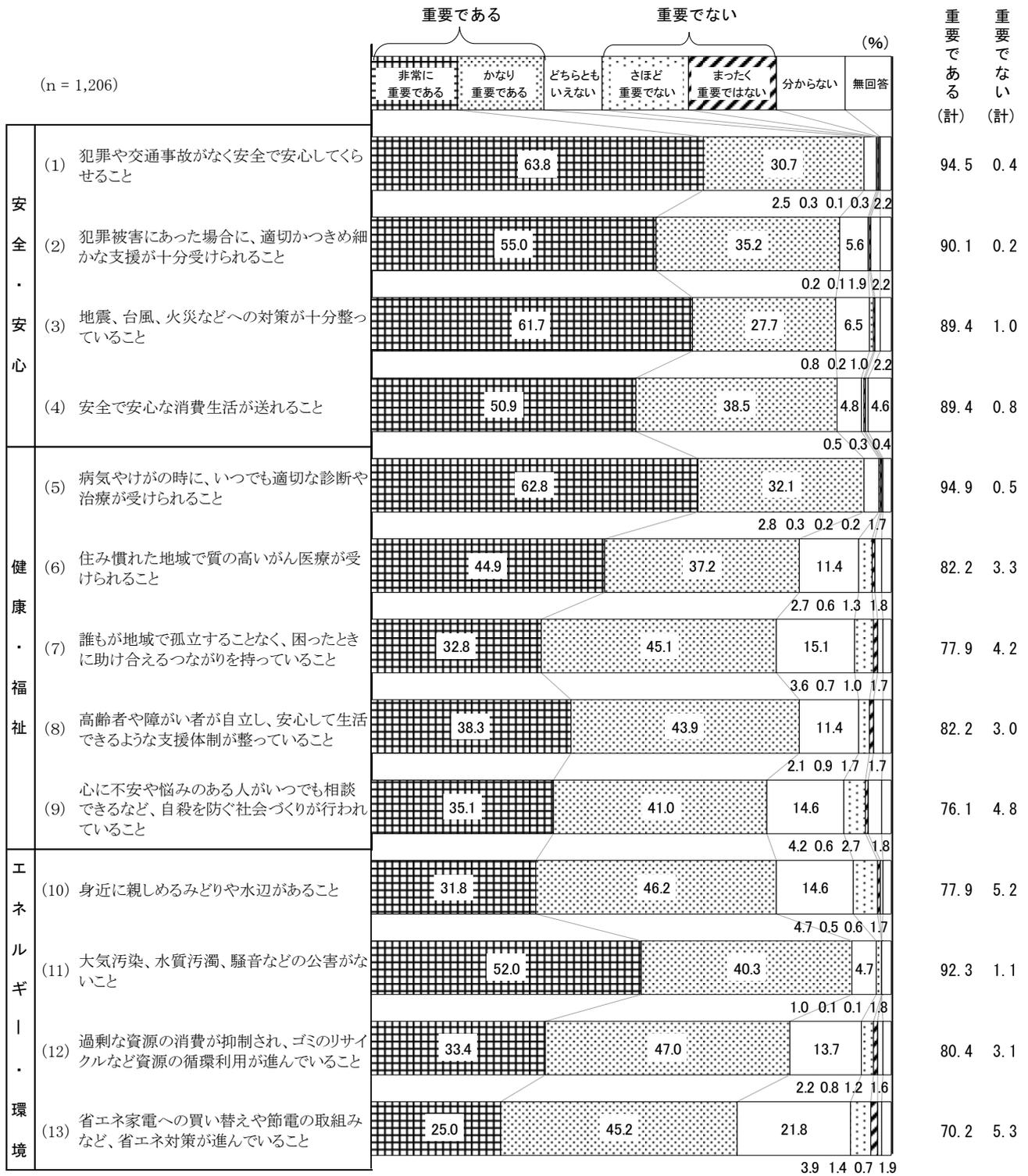
【全体の状況】

項目別の重要度の回答状況は、図表3-1-1に示すとおりである。

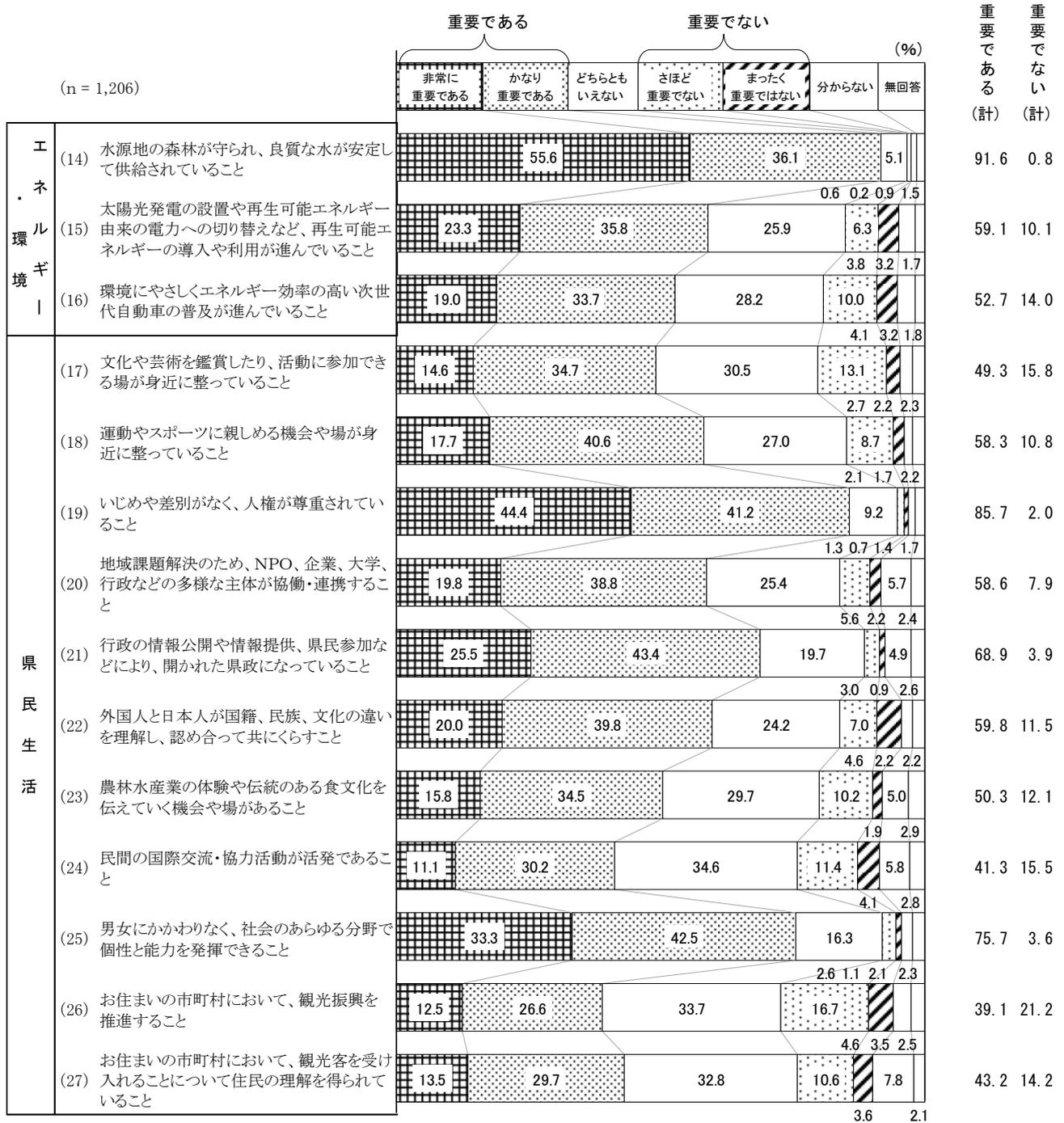
「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせた《重要である》と「さほど重要でない」と「まったく重要ではない」を合わせた《重要でない》を比較すると、すべての項目で《重要である》が《重要でない》を上回った。

《重要である》をみると、「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」が94.9%で最も多く、「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること」(94.5%)、「(37) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」(93.8%)、「(11) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」(92.3%)が続いた。(図表3-1-1)

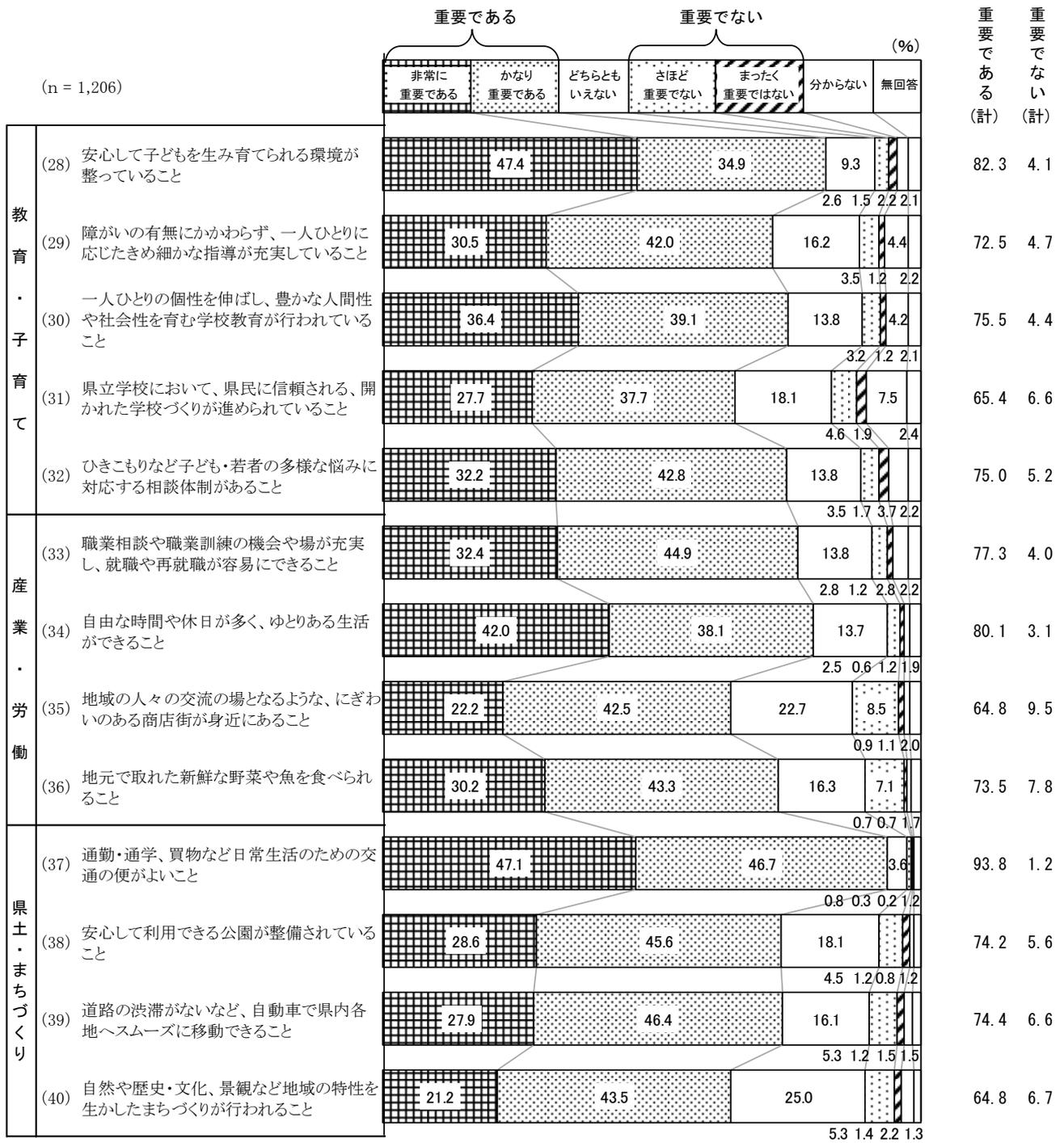
図表3-1-1 重要度



図表3-1-1 重要度（つづき）



図表3-1-1 重要度（つづき）



【過去との比較】

《重要である》の上位10項目について過去の調査と比較すると、順位において多少の変動はあるが上位9項目は前回調査と同じ項目となった。(図表3-1-2)

図表3-1-2 重要度《重要である》の上位10項目－過去との比較

	令和2年度(n = 1,576)	令和3年度(n = 1,503)	令和4年度(n = 1,404)	令和5年度(n = 1,241)	令和6年度(n = 1,206)
1位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(95.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.4%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.4%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.9%)
2位	犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること(93.7%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること	犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること(94.3%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること(92.7%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること(94.5%)
3位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(91.4%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.0%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(91.7%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(93.8%)
4位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(92.7%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.5%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(90.4%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.3%)
5位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.4%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(91.0%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.0%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.6%)
6位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.3%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.1%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.4%)	安全で安心な消費生活が送れること(88.4%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(90.1%)
7位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(89.0%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(87.9%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(90.3%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(87.5%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること
8位	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(86.2%)	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(85.4%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(84.9%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(86.8%)	安全で安心な消費生活が送れること(89.4%)
9位	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.0%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.2%)	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(83.0%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(83.1%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.7%)
10位	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(83.2%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(84.3%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(82.4%)	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(82.4%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(82.3%)

※「ゴミの分別やリサイクルが進んでいること」は令和2年度より追加、令和5年度より削除

「安全で安心な消費生活が送れること」は令和5年度より追加

※各項目の過去との比較については、図表A(97~106ページ)を参照

図表3-1-3 重要度《重要である》の上位項目－地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目	(5)	(1)	(37)	(11)	(14)	(2)	(3)	(4)
	地域	な病 診気 断や やけ 治が 療の が時 が受 けら いれ るこ も適 切	し犯 て罪 くや ら交 せ通 る事 故が なく 安全 で安 心	た通 め勤 の・ 交通 学の 、買 物な ど日 常生 活の	公大 害気 が汚 染、 水質 汚濁 、騒 音な どの	が水 安源 定地 の森 林が 守ら れ、 良質 な水	るつ こき め被 害に あつ た場 合に 、適 切か	十地 分震 、台 風の 、火 災な どへ の対 策が
上段：順位 下段：(%)								
全 体 (n=1,206)	① 94.9	② 94.5	③ 93.8	④ 92.3	⑤ 91.6	⑥ 90.1	⑦ 89.4	⑦ 89.4
横 浜 (n= 472)	② 94.7	① 95.6	③ 92.8	③ 92.8	⑤ 90.5			
川 崎 (n= 160)	③ 95.6	② 96.9	① 98.1	④ 93.1			⑤ 91.9	⑤ 91.9
相模原 (n= 89)	② 93.3	① 96.6	② 93.3	⑤ 91.0		④ 92.1		
横須賀三浦 (n= 112)	① 96.4	③ 93.8	① 96.4		④ 91.1			④ 91.1
県 央 (n= 117)	④ 93.2	⑤ 89.7	③ 94.0	② 94.9	① 95.7	⑤ 89.7		
湘 南 (n= 166)	② 95.2	① 96.4	⑤ 91.6		④ 92.8	③ 93.4	⑤ 91.6	
県 西 (n= 51)	② 98.0		③ 96.1	③ 96.1	① 100.0			⑤ 94.1

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-1-4 重要度《重要である》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目	(5)	(1)	(37)	(11)	(14)	(2)	(3)	(4)	(19)	(28)	(12)	(34)	(33)	(25)
	な病 診気 断や けが 治療 がの 時に 、い つで も適 切	し犯 罪や 交 通事 故が なく 安全 で安 心	た通 勤の ・通 学、 買物 など 日常 生活 の	公大 害が ない こと	が水 源地 の森 林が 守ら れ、 良質 な水	るつ きめ 細か な支 援が 十分 受け られ るか	十犯 罪被 害に あつ た場 合に 、適 切か	地震 、台 風、 火災 など への 対策 が	と安 全で 安心 な消 費生 活が 送る こ	さい じめ や差 別が なく 、人 権が 尊重	環安 境が 整つ て子 ども を生 み育 てら れる	用ミ のの リサ イク ルな 消費 が抑 制さ れ、 ゴ	ある 自由 な時 間や 休日 が多 く、 ゆと り	きる 充 実し 、就 職や 再就 職の 機会 や場 が
性・年代 上段：順位 下段：(%)														
全 体 (n=1,206)	① 94.9	② 94.5	③ 93.8	④ 92.3	⑤ 91.6	⑥ 90.1	⑦ 89.4	⑦ 89.4	⑨ 85.7	⑩ 82.3	⑬ 80.4	⑭ 80.1	⑰ 77.3	⑱ 75.7
男 性 (n= 538)	① 94.4	② 94.1	③ 92.6	④ 92.0	⑤ 90.7									
女 性 (n= 606)	② 95.5	① 95.7	③ 95.0	④ 92.7	⑤ 92.4									
男性18～29歳 (n= 24)	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0			① 100.0			① 100.0		
30歳代 (n= 48)		① 95.8	① 95.8	⑤ 91.7		③ 93.8		⑤ 91.7		③ 93.8		⑤ 91.7		
40歳代 (n= 95)	② 93.7	③ 92.6	① 94.7	⑤ 89.5		④ 90.5								
50歳代 (n= 125)	① 96.8	① 96.8		⑤ 92.8	③ 94.4	③ 94.4	⑤ 92.8							
60歳代 (n= 112)	① 97.3	③ 94.6	④ 92.0	④ 92.0	② 95.5									
70～74歳 (n= 58)	① 93.1	① 93.1	① 93.1	① 93.1	⑤ 91.4									
75歳以上 (n= 73)	① 90.4	③ 87.7	③ 87.7	① 90.4							⑤ 86.3			
女性18～29歳 (n= 26)		② 96.2	① 100.0	③ 92.3			③ 92.3			③ 92.3		③ 92.3	③ 92.3	③ 92.3
30歳代 (n= 66)	① 98.5	③ 97.0	① 98.5			④ 95.5		④ 95.5						
40歳代 (n= 122)	② 95.1	① 95.9	③ 93.4	⑤ 91.8			③ 93.4	⑤ 91.8						
50歳代 (n= 149)	① 99.3	② 98.7	③ 98.0				⑤ 94.6	④ 97.3						
60歳代 (n= 106)	① 99.1	④ 96.2	② 97.2	④ 96.2	② 97.2									
70～74歳 (n= 50)	① 94.0	⑤ 92.0	① 94.0	⑤ 92.0	① 94.0			① 94.0			⑤ 92.0			
75歳以上 (n= 83)	④ 86.7	① 90.4		② 89.2	② 89.2	④ 86.7								

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

2 満足度【問7】

「重要度」で尋ねた項目と同じ40項目について、どの程度満たされていると感じているかを尋ねた。項目ごとに「十分満たされている」から「ほとんど満たされていない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は「十分満たされている」「かなり満たされている」「どちらともいえない」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」の5区分に「分からない」を加えた6区分とした。

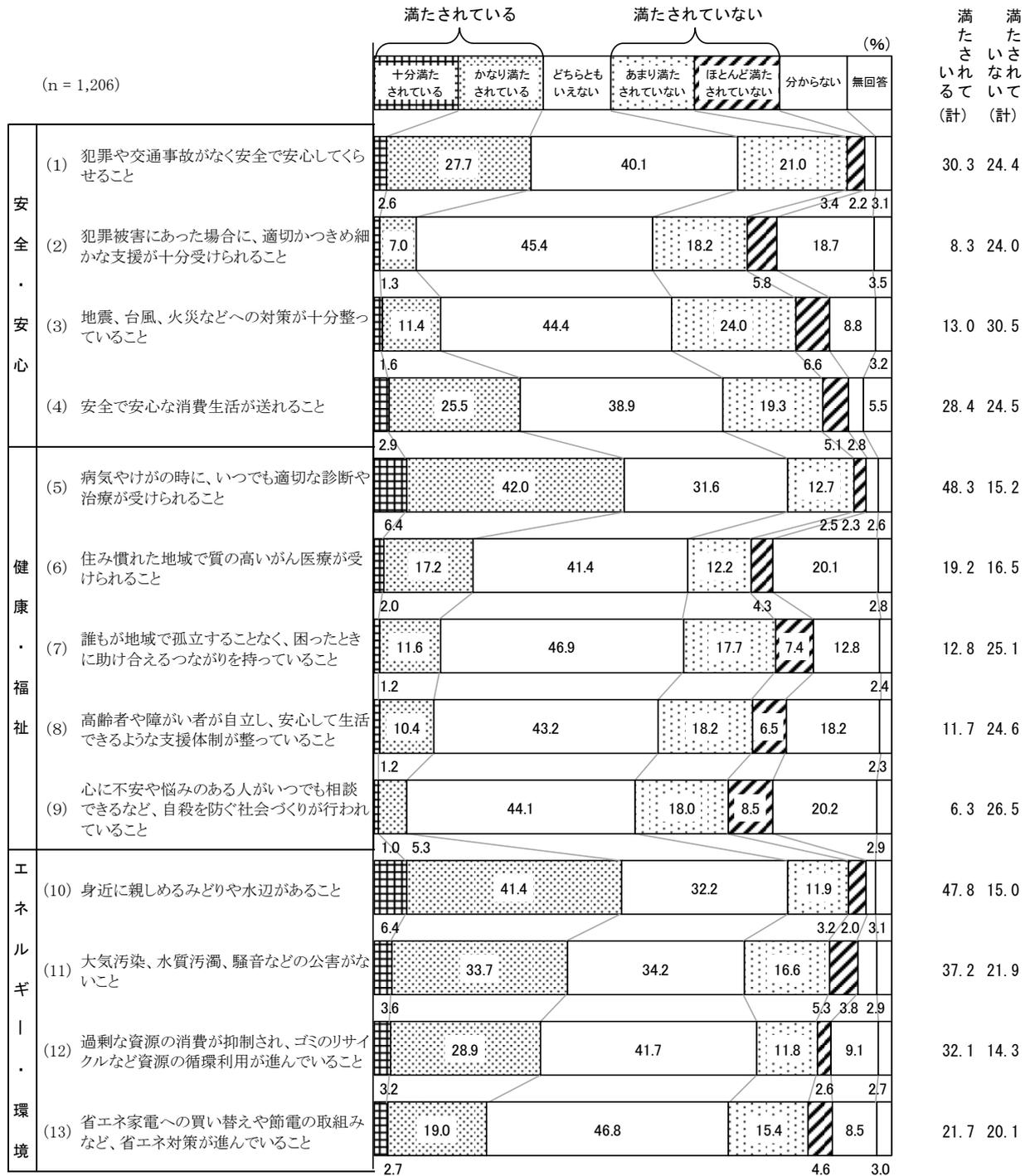
【全体の状況】

項目別の満足度の回答状況は、図表3-2-1に示すとおりである。

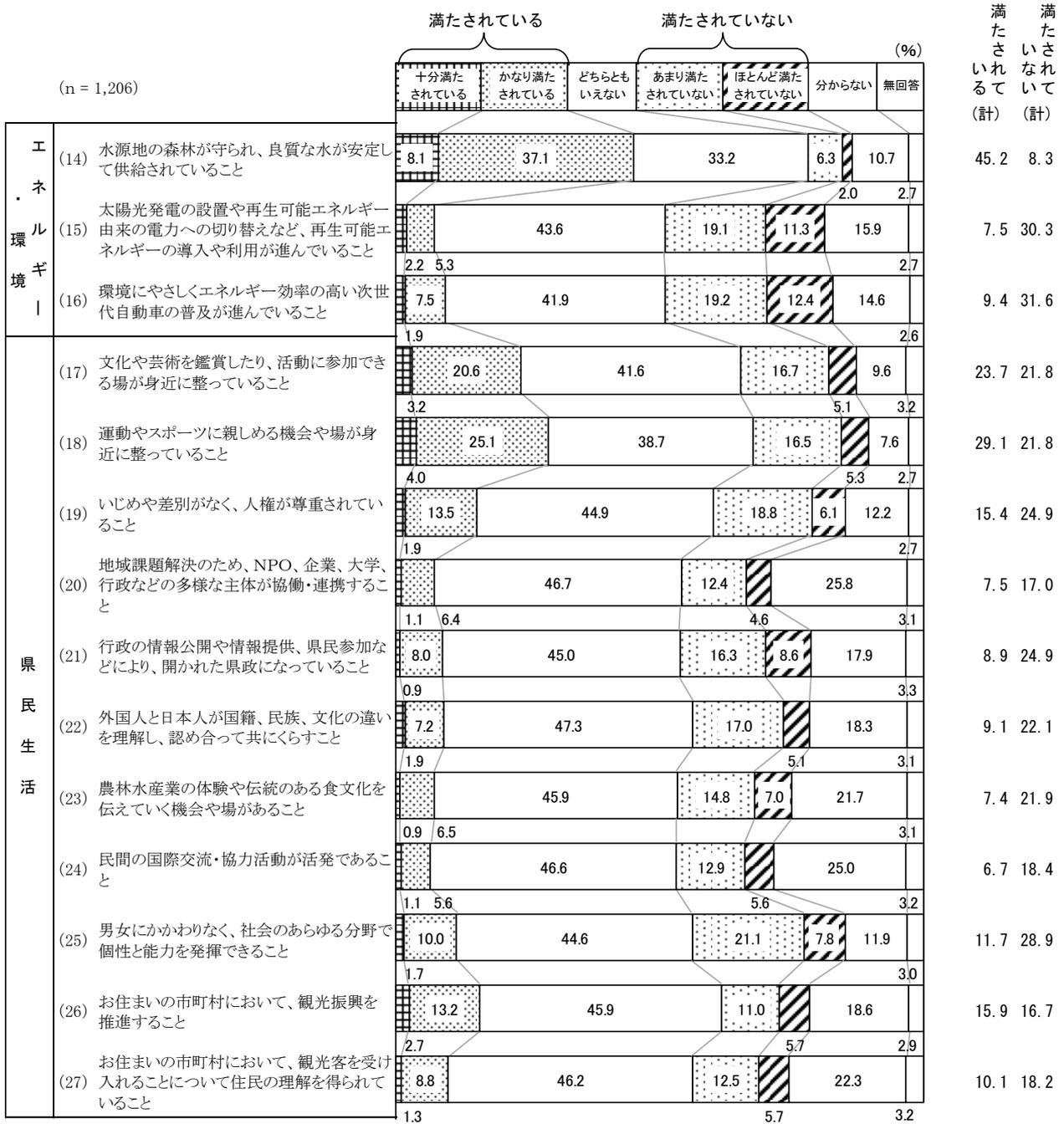
「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせた《満たされている》は、「(37) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」が51.1%で最も多く、「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」(48.3%)、「(10) 身近に親しめるみどりや水辺があること」(47.8%)が続いた。

「ほとんど満たされていない」と「あまり満たされていない」を合わせた《満たされていない》は、「(35) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が39.2%で最も多く、「(39) 道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」(34.5%)、「(34) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること」(34.1%)が続いた。(図表3-2-1)

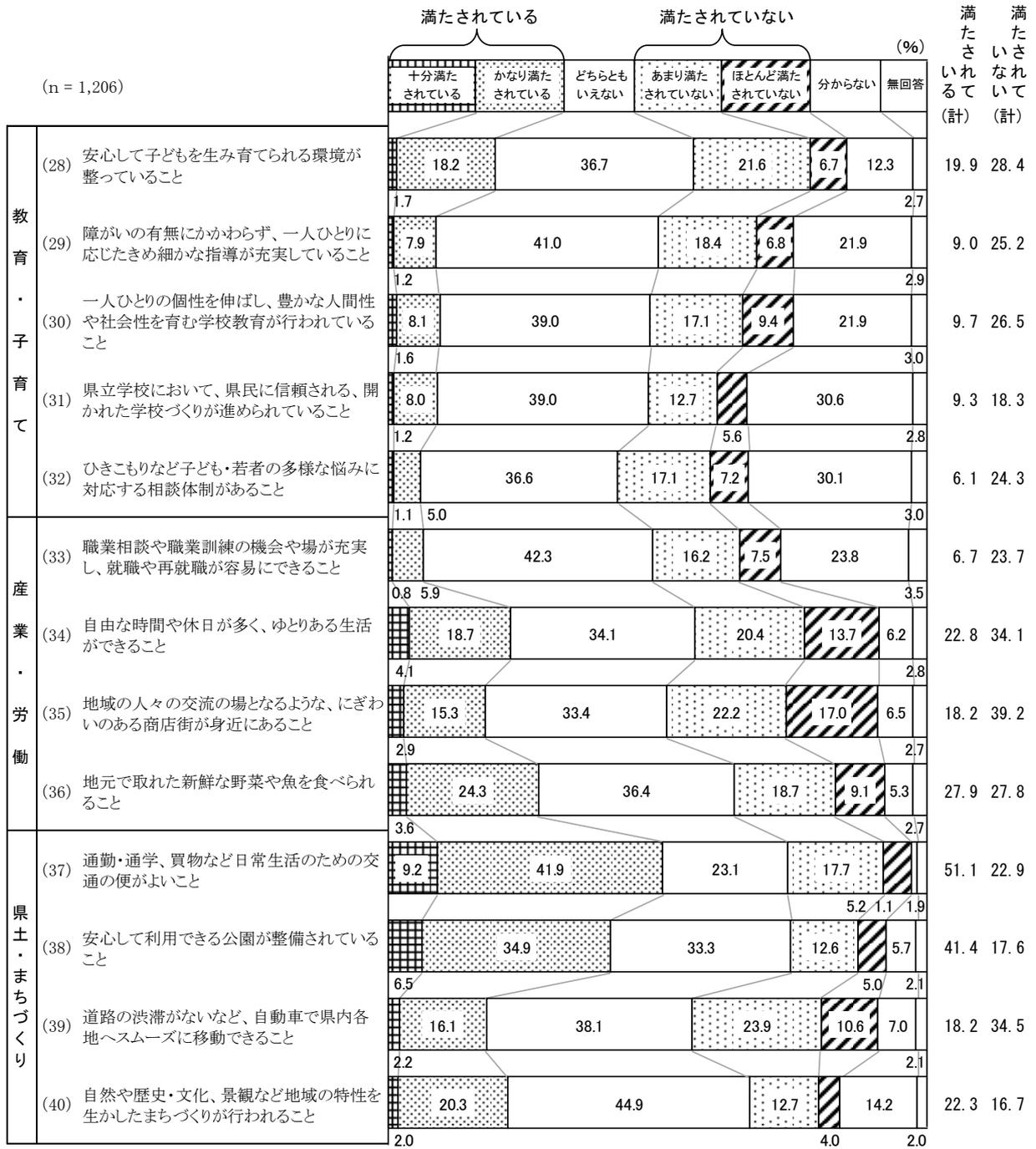
図表3-2-1 満足度



図表3-2-1 満足度（つづき）



図表3-2-1 満足度（つづき）



【過去との比較】

《満たされている》の上位10項目について過去の調査と比較すると、順位において多少の変動はあるが前回調査と同じ項目となった。(図表3-2-2)

図表3-2-2 満足度《満たされている》の上位10項目－過去との比較

	令和2年度 (n = 1,576)	令和3年度 (n = 1,503)	令和4年度 (n = 1,404)	令和5年度 (n = 1,241)	令和6年度 (n = 1,206)
1位	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること (50.8%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること (52.2%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (50.4%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (51.1%)
2位	身近に親しめるみどりや水辺があること (49.8%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (49.2%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (50.6%)	身近に親しめるみどりや水辺があること (48.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (48.3%)
3位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (48.4%)	身近に親しめるみどりや水辺があること (47.4%)	身近に親しめるみどりや水辺があること (47.3%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (46.2%)	身近に親しめるみどりや水辺があること (47.8%)
4位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (44.7%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (43.8%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (47.0%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (45.0%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (45.2%)
5位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (44.4%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (43.4%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (43.7%)	安心して利用できる公園が整備されていること (37.8%)	安心して利用できる公園が整備されていること (41.4%)
6位	安心して利用できる公園が整備されていること (39.5%)	安心して利用できる公園が整備されていること (36.8%)	安心して利用できる公園が整備されていること (38.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (32.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (37.2%)
7位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (32.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (30.3%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (33.4%)	安全で安心な消費生活が送れること (28.6%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること (32.1%)
8位	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること (29.6%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること (29.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (29.0%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること (27.6%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (30.3%)
9位	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること (29.2%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること (28.1%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること (28.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (26.6%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること (29.1%)
10位	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (24.0%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (26.8%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること (27.9%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること (25.8%)	安全で安心な消費生活が送れること (28.4%)
	健康的な生活習慣などについて情報や知識が得られること (24.0%)				

※ 「ゴミの分別やリサイクルが進んでいること」は令和2年度より追加、令和5年度より削除

「健康的な生活習慣などについて情報や知識が得られること」は令和5年度より削除

「安全で安心な消費生活が送れること」、「過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること」は令和5年度より追加

※各項目の過去との比較については、図表B (107～116 ページ) を参照

《満たされていない》の上位10項目について過去の調査と比較すると、第1位は令和2年度から変わらず「地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」となり、前回調査で第5位であった「道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」が第2位となった。(図表3-2-3)

図表3-2-3 満足度《満たされていない》の上位10項目－過去との比較

	令和2年度 (n = 1,576)	令和3年度 (n = 1,503)	令和4年度 (n = 1,404)	令和5年度 (n = 1,241)	令和6年度 (n = 1,206)
1位	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(43.8%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(43.2%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(44.4%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.5%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(39.2%)
2位	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(36.7%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(38.2%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.5%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.0%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(34.5%)
3位	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(32.0%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(36.2%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(34.3%)	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること(34.9%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(34.1%)
4位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(31.5%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(33.8%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(33.5%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(34.6%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(31.6%)
5位	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(31.3%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(32.4%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(33.3%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.5%)
6位	安心して子どもを子育てできる環境が整っていること(31.0%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(32.3%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(32.6%)	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること(30.3%)
7位	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(30.6%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(31.9%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(32.8%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(29.0%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(28.9%)
8位	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持っていること(29.6%)	安心して子どもを子育てできる環境が整っていること(30.0%)	安心して子どもを子育てできる環境が整っていること(31.9%)	心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	安心して子どもを子育てできる環境が整っていること(28.4%)
9位	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(29.3%)	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(29.5%)	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(29.4%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持っていること(28.8%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(27.8%)
10位	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(29.2%)	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(29.3%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(28.3%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(28.3%)	心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること(26.5%)

※「高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること」は令和5年度より削除

※「太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること」は令和5年度より追加

※各項目の過去との比較については、図表B（107～116 ページ）を参照

図表3-2-4 満足度《満たされている》の上位項目－地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

地域 上段：順位 下段：(%)	(37)	(5)	(10)	(14)	(38)	(11)	(1)	(36)
	い生活 この・ た通 め学 の、 交買 通物 のな 便ど が日 常	らも病 れ適気 る切や ことな と診が と断の や時 治に 療が いつ 受っ けで	辺身 が近 ある 親し こと め る み ど り や 水	て質水 いる源 るな地 こと水の と安森 と定林 しが て守 供ら 給れ され れ良	整安 備心 さし て利 用で きる こと 公園 が	な大 どの の汚 染、 水質 汚濁、 騒音	で犯 安罪 心や し交 して通 く事 ら故 せが るな こと と安 全	魚地 を元 食で べ取 られ れた 新鮮 な野 菜や
全体 (n=1,206)	① 51.1	② 48.3	③ 47.8	④ 45.2	⑤ 41.4	⑥ 37.2	⑧ 30.3	⑪ 27.9
横浜 (n= 472)	① 58.9	③ 47.7	② 50.2	⑤ 45.1	④ 45.6			
川崎 (n= 160)	① 65.0	② 56.9	⑤ 36.9	⑤ 36.9	③ 38.1	⑤ 36.9	④ 37.5	
相模原 (n= 89)	③ 41.6	② 43.8	④ 38.2	① 48.3	⑤ 32.6			
横須賀三浦 (n= 112)		② 50.9	① 52.7	⑤ 42.9			④ 47.3	③ 50.0
県央 (n= 117)	⑤ 39.3	① 53.8	④ 41.9	① 53.8	③ 46.2			
湘南 (n= 166)		③ 44.6	① 53.0	② 47.6	④ 41.6			④ 41.6
県西 (n= 51)	⑤ 43.1	⑤ 43.1	① 56.9	② 54.9		③ 47.1		④ 45.1

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-5 満足度《満たされていない》の上位項目—地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目	(35)	(39)	(34)	(16)	(3)	(15)	(25)	(36)	(30)	(4)	(37)
	地域 上段：順位 下段：(%)	とに地 ぎ域 わの いの の々 のあ る交 流の 商店 街が 身近 にあ るこ と	各道 地路 への 渋滞 がな いな ど、 自動 車で 県内	生自 活由 がな でき る時 間や 休日 が多 く、 ゆと りあ る	次環 世境 代に やす い自 動さ 車の 普及 が進 んで いる こと 高い	整地 つ震 って、 台風 、火 災な どへ の対 策が 十分	ギの太 ー電陽 の力光 への発 導の切 入やり 利用電 が進置 んでや いるな ど、再 生可 能エ ネル ギー	分野男 で女 個性にか とわり 能力なく を、社 会のあ らゆる	れる地 元で元 取れた 新鮮な 野菜や 魚を食 べら	間一人 性やひとり 社会の個性 を伸ばし、 豊かな人 間性を育む 学校教育が 行われ	安全で 安心な 消費生活 が送れる こと
全体 (n=1,206)	① 39.2	② 34.5	③ 34.1	④ 31.6	⑤ 30.5	⑥ 30.3	⑦ 28.9	⑨ 27.8	⑩ 26.5	⑰ 24.5	⑳ 22.9
横浜 (n= 472)	① 37.3	④ 29.9	② 33.9	⑤ 29.7		⑤ 29.7		③ 30.5			
川崎 (n= 160)	② 34.4	③ 33.8	① 36.9	⑤ 30.0	⑤ 30.0			④ 32.5			
相模原 (n= 89)	① 48.3	② 42.7	③ 38.2		④ 36.0						⑤ 33.7
横須賀三浦 (n= 112)	① 38.4	② 35.7	③ 32.1	③ 32.1					③ 32.1		
県央 (n= 117)	① 44.4	② 36.8		③ 32.5		④ 31.6		④ 31.6			
湘南 (n= 166)	② 39.8	① 42.8	⑤ 36.1	③ 38.6			③ 38.6				
県西 (n= 51)	① 47.1	⑤ 31.4		③ 35.3	② 41.2	⑤ 31.4				③ 35.3	

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査 : <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-6 満足度《満たされている》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目	(37)	(5)	(10)	(14)	(38)	(11)	(12)	(1)	(18)	(4)	(36)	(40)
	の通勤・通学、買物など日常生活のため、交通の便がよいこと	と切病な気やけが治療が受けられることも適	あ身近に親しめるみどりや水辺が	と水源地の森林が守られ、良質な	さ安心して利用できる公園が整備	の大気汚染、水質汚濁、騒音など	環ゴミのリサイクルなど資源の循環	過剰な資源の消費が抑制され、	心犯罪や交通事故がなく安全で安	や運動やスポーツに親しめる機会	こと安全で安心な消費生活が送れる	食地元で取れた新鮮な野菜や魚を
性・年代 上段：順位 下段：(%)												
全体 (n=1,206)	① 51.1	② 48.3	③ 47.8	④ 45.2	⑤ 41.4	⑥ 37.2	⑦ 32.1	⑧ 30.3	⑨ 29.1	⑩ 28.4	⑪ 27.9	⑬ 22.3
男性 (n= 538)	① 52.2	② 51.5	④ 45.2	③ 48.9	⑤ 43.7							
女性 (n= 606)	① 50.3	③ 47.5	② 49.2	④ 43.2	⑤ 39.6							
男性18～29歳 (n= 24)		① 83.3	③ 75.0	① 83.3	③ 75.0				⑤ 62.5			
30歳代 (n= 48)	① 58.3	② 43.8	② 43.8			② 43.8		⑤ 41.7				
40歳代 (n= 95)	① 52.6	③ 47.4	④ 45.3		② 51.6	⑤ 44.2						
50歳代 (n= 125)	① 54.4	② 48.8	④ 45.6	③ 48.0	⑤ 44.0							
60歳代 (n= 112)	② 46.4	③ 45.5	④ 39.3	① 50.9	⑤ 36.6					⑤ 36.6		
70～74歳 (n= 58)	① 56.9	② 55.2	③ 41.4	③ 41.4	⑤ 39.7							
75歳以上 (n= 73)	③ 49.3	① 61.6	④ 46.6	② 56.2	⑤ 42.5							
女性18～29歳 (n= 26)		① 53.8	① 53.8	③ 46.2	③ 46.2							⑤ 42.3
30歳代 (n= 66)	① 59.1	② 54.5	④ 50.0	⑤ 47.0	③ 51.5							
40歳代 (n= 122)	① 50.8	② 41.0	③ 40.2	③ 40.2							⑤ 36.9	
50歳代 (n= 149)	② 51.0	③ 47.0	① 55.0	④ 45.0		⑤ 38.9						
60歳代 (n= 106)	③ 45.3	② 48.1	① 50.0	④ 40.6		⑤ 36.8						
70～74歳 (n= 50)	① 46.0	④ 42.0	③ 44.0			④ 42.0	① 46.0					
75歳以上 (n= 83)	① 51.8	① 51.8	① 51.8	① 51.8			⑤ 47.0					

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-7 満足度《満たされていない》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目	(35)	(39)	(34)	(16)	(3)	(15)	(25)	(28)	(36)	(9)	(30)	(29)	(7)	(8)	(4)	(1)	(2)	(17)	(24)	(27)
	身近にあること	地域の交流の場となるような、にぎわいのある商店街があること	道路の渋滞がないなど、自動車でも県内各地へスムーズに移動できること	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	心にも不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること	障がいのある人にかかわらず、一人ひとりに応じたきめ細かな指導が充実していること	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持つていること	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	安全で安心な消費生活を送れること	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること	犯罪被害にあつた場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること	文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	民間の国際交流・協力活動が活発であること
全体 (n=1,206)	① 39.2	② 34.5	③ 34.1	④ 31.6	⑤ 30.5	⑥ 30.3	⑦ 28.9	⑧ 28.4	⑨ 27.8	⑩ 26.5	⑩ 26.5	⑫ 25.2	⑬ 25.1	⑭ 24.6	⑰ 24.5	⑱ 24.4	⑳ 24.0	㉖ 21.8	㉙ 18.4	㉛ 18.2
男性 (n= 538)	① 39.8	② 37.9	③ 33.1	④ 32.9		⑤ 30.3														
女性 (n= 606)	① 38.8	④ 31.2	② 34.3	⑤ 30.4	③ 32.0															
男性18～29歳 (n= 24)			③ 29.2					① 41.7		③ 29.2		③ 29.2	① 41.7						③ 29.2	
30歳代 (n= 48)	④ 43.8	② 50.0	① 54.2					③ 45.8			④ 43.8									
40歳代 (n= 95)	② 36.8	② 36.8	① 38.9			④ 34.7		⑤ 33.7												⑤ 33.7
50歳代 (n= 125)	② 46.4	① 49.6	③ 36.8	④ 33.6			⑤ 32.8													
60歳代 (n= 112)	① 42.0	② 41.1		③ 36.6	④ 34.8					④ 34.8										
70～74歳 (n= 58)				② 39.7	⑤ 34.5	① 41.4	③ 36.2							③ 36.2						
75歳以上 (n= 73)	① 38.4			③ 30.1	⑤ 27.4				⑤ 27.4							② 31.5	③ 30.1			
女性18～29歳 (n= 26)		④ 46.2	① 53.8				① 53.8	③ 50.0			④ 46.2									
30歳代 (n= 66)	③ 37.9	⑤ 36.4	① 48.5					② 42.4							③ 37.9					
40歳代 (n= 122)	② 37.7	④ 35.2	① 41.8				④ 35.2				③ 36.1									
50歳代 (n= 149)	① 41.6	③ 34.9	② 36.9	④ 30.2		④ 30.2														
60歳代 (n= 106)	① 45.3			③ 34.9	② 36.8	③ 34.9				⑤ 34.0										
70～74歳 (n= 50)	⑤ 30.0			⑤ 30.0	① 44.0	③ 34.0		② 42.0	③ 34.0									⑤ 30.0		
75歳以上 (n= 83)	① 33.7			② 32.5	③ 31.3	④ 30.1											⑤ 28.9			

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査 : <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)